

(書式 2)

学会参加報告書

提出日 平成 28 年 9 月 27 日

学籍番号	16N0009	学系	トレーニング科学系
氏名	山崎由紀奈		
学会等名 (正式名称)	European college of sport science		
開催日程	2016 年 7 月 6 日 ~ 2016 年 7 月 9 日		
開催場所 (国・都市名)	オーストリア・ウィーン		
発表演題名	Changes in isometric knee flexion torque and hamstrings EMGs under the different muscle-tendon length conditions		
参加報告 ・項目別に具体的に記載する。	<p><学会の全体の印象> 同時間に最大 8 つのセッション会場で口頭発表が行われる大きな学会であった。セッションは” Team sports” や” Balance” など珍しい群分けをしており、興味深かった。特に” Hamstring muscle function in human movement” は 1 つの筋を対象にした盛況なセッションだった。女性の研究者が多かったことも印象に残った。</p> <p><自分の研究と関連した発表とその内容> ハムストリングスのセッションでは、これまでのハムストリングスの研究内容及び最新の研究内容が発表された。ハムストリングスの表面筋電図の取得や、超音波検査装置を用いた屈曲時の筋束の動態を調査した結果も発表された。ノルディック・ハムストリング・エクササイズを用いたトレーニング実験では、コンセントリック収縮では脱トレーニング後もトレーニング効果は持続する一方、エキセントリック収縮では脱トレーニング後にトレーニング効果は失われたという結果が報告された。</p> <p><自身の発表への質問・コメント> 同時間に” Muscle tendon” のセッションがあったため、会場にバイオメカニクスを専門とする聴衆は少なかった。座長からの質問は被験者の特徴(日常の活動量及び運動種目)についてと、女性や不活発の人を対象とした場合にどのような結果を推測できるかであった。</p>		

※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。

提出期限は学会終了後 2 週間以内とする。

本報告書は学会参加報告書として日本体育大学総合スポーツ科学研究センターホームページ内に掲載されます。